

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会  
2021年度 第5回定例理事会議事録要旨

日 時：2021年11月25日（木）16：00～18：30

場 所：AP 東京八重洲 A+B ルーム / オンライン（ZOOM）

現地出席：理 事 長：比企直樹

副理事長：福島亮治

監 事：倉田なおみ

理 事：飯島正平、石井良昌、大石英人、尾花和子、小谷穰治、斎藤恵子、  
佐々木雅也、清水孝宏、鈴木 裕、高増哲也、千葉正博、鍋谷圭宏、  
三原千恵、名徳倫明、森 みさ子、鷲澤尚宏

事務局幹事：櫻谷美貴子

ZOOM出席：理 事：犬飼道雄、遠藤陽子、小山 諭、中瀬 一、丸山道生、室井延之

監 事：田妻 進、土岐祐一郎

特任顧問：平田公一

事務局幹事：新原正大

JSPEN-U45 幹事：熊谷厚志

欠 席 者：特任顧問：平井敏弘

監 事：花崎和弘

理 事：祖父江和哉、山中英治

記 録：瀧田実隆（事務局）

（敬称略：五十音順）

議 題：

I. 理事長挨拶

定款第5章第28条に則り、2021年度第5回定例理事会の開催が宣言された。議長は理事長が務め、議事録署名は定款第33条に則り理事長と出席した監事（倉田なおみ、田妻 進、土岐祐一郎各監事）となることが確認された。

II. 今後の事務局体制について

事務局全スタッフの自己紹介が行われた。各スタッフより担当委員会と業務紹介と抱負が述べられた。

III. 前回議事録の確認について

前回議事録（案）が承認され、議事録署名手続きに入ることが報告された。

IV. 庶務報告について

事務局幹事より、2021年9月30日現在の会員動向が報告された。

■2021年9月30日現在 ※宛先不明42名含む、退会・休会除く

会員種別	2021年6月30日	2021年9月30日	増減
名誉会長	2名	2名	±0名
名誉会員	43名	43名	±0名
特別会員	64名	64名	±0名
代議員	250名	249名	-1名
学術評議員(代議員は除く)	499名	498名	-1名
正会員	21,942名	22,063名	+121名
寄贈会員	8名	8名	±0名
総数	22,808名	22,927名	+119名

■職種別

医師	4,761名	管理栄養士	6,430名	言語聴覚士	626名
歯科医師	452名	栄養士	55名	歯科衛生士	121名
看護師	4,194名	臨床検査技師	671名	診療放射線技師	4名
准看護師	2名	理学療法士	477名	その他	655名
薬剤師	4,347名	作業療法士	132名	合計	22,927名

■2021年分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	納入率
代議員	248名	1名	99.59%
学術評議員	481名	17名	96.59%
正会員	19,857名	2,206名	90.00%
総数	20,586名	2,224名	90.24%

V. 第36回学術集会 会計報告について

第36回学術集会 鍋谷会長より理事会に対して謝辞が述べられた。収支説明がされ、現在、公認会計士の監査中であることが報告された。当初の会場費の配慮や神戸市補助金などの各助成制度も利用し、本部返納できる収支報告となったが、ハイブリットでの開催は、多くの経費増となることが報告され、次期以降の会長へ申し送りがなされた。

VI. 第9回定時社員総会の招集について

第9回定時社員総会の招集について予定議案も含め提出され、以下のとおり決議された。また、2021年の第8回定時社員総会同様にオンライン視聴を伴う単独開催とすることが確認された。

日 時：2022年2月13日(日) 13:00~16:00(名誉会員・特別会員推戴式も予定)

場 所：ステーションコンファレンス東京 501A・B・S

VII. 独立監査人の委託について

第17回持ち回り理事会にて、「次年度以降の独立監査人の選定は、理事会審議を経た選任方法を踏襲する」ことを条件に、河村真優美公認会計士(汐留パートナーズ)へ独立監査人の依頼を承認したことが確認された。

## Ⅷ. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 審議事項

### 総務委員会（飯島理事）

#### ①名誉会員・特別会員推戴について

推戴候補者の提案がなされ、下記の通り推戴することが承認された。

【名誉会員】大村健二先生、田妻 進先生、丸山道生先生

【特別会員】大平雅一先生、海塚安郎先生、北原修一郎先生、柴田佳久先生、藤井映子先生、  
八木 実先生、横山 正先生

#### ②定款施行細則第 4 条の変更について（第 13 回持ち回り理事会議案再提出）

現在の休会制度の運用との整合のため、定款施行細則の休会規定の変更が承認された。

#### ③定款施行細則以外の休会申請について

対象者 2 名の休会申請理由が提出され、審議の結果、今回の申請について承認することとした。

### 将来構想委員会 JSPEN-U45（鍋谷理事）

#### ①企業共催によるメディカルスタッフ対象セミナーについて

JSPEN-U45 プロジェクト「Education and Early exposure」の 1 つとして「研究手法についてのセミナー」を企画した。企業より共催の申し出があり、メディカルスタッフを対象として、数回に分けてオンライン開催する企画が提案された。本セミナーの開催は承認されたが、共催企業は、規制事項も留意し、学会ウェブサイトの公募を経て決定することになった。

#### ②JSPEN-U45 による「栄養療法ポケットブック」の企画・発刊について

「日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック」をはじめ基礎的な知識を習得する企画本は発刊されているが、これまで初歩的かつ実践的な栄養療法の主だった専門書はない。入門者と目線に近い JSPEN-U45 を交え職能 3 部会と協力し、栄養療法に関わる医療従事者の育成に貢献のため、ベッドサイドでも活用しやすい「栄養療法ポケットブック（仮称）」企画案が提案された。理事会からは WEB 版の制作も提案され、出版社の選定も含め進めていくことが承認された。

### 支部統括委員会（三原理事）

#### ①支部世話人会の役割（支部規則改定）について

世話人会の成立要件、議決権の制定および代表世話人会の設置を追加した規定案が提出され承認された。また、代表世話人会の選任における若干名は、各都道府県から 1 名を選任することを目安とすることが確認された。

### 認定・資格制度委員会（福島副理事長）

#### ①認定歯科医制度施行細則（案）の制定と資格停止条項の規定について

2022 年に初回更新申請年を迎える。更新手続きは、施行細則で運用するため、認定歯科医制度施行細則（案）を策定し、原案の通り承認がされた。さらに認定医・指導医制度規約と整合性のため、認定歯科医規約へも復活規定を定め、定時社員総会へ提出することが承認された。

②NST 専門療法士未更新者（資格失効）の復活制度の設置について

NST 専門療法士有資格者が未更新等で資格失効した場合、再度取得には再受験（筆記試験）が必要となる。一方、認定医・指導医制度では、復活申請手続きがある。同一学会の認定制度の整合を目的として、NST 専門療法士制度の復活申請規定案が提出され、承認された。

③NST 専門療法士更新条件の見直しについて

所属施設の人事異動により更新条件における認定期間中の 2 年以上の従事経験を満たせず失効する有資格者も多いことが懸念されていたため、従事経験年数を所定単位の追加で代替できる規定案が提出され、承認された。

**倫理・利益相反委員会（鷺澤理事）**

①倫理審査委員会依頼までの条件と流れについて

倫理的配慮が必要な研究発表は、研究開始時までに公の倫理審査委員会承認が必要となるが、第 37 回学術集会演題登録では、所定の原則となる手続きを提示する他に本学会の倫理・利益相反委員会へも相談できる弾力的な対応も行っていくことになった。

**第 37 回学術集会について（飯島会長）**

飯島会長より日頃の理事会の先生方へのご協力に謝辞が述べられた。続けて、演題募集およびプログラム策定などの準備状況について報告がされた。

**第 38 回学術集会について（小谷会長）**

小谷次期会長より 2023 年 5 月の開催に向けて、プログラム委員会の設置など現在の準備状況について報告がされた。

**第 39 回学術集会について（鷺澤会長）**

鷺澤次々期会長より 2023 年 2 月学術集会日程変更時のご理解とご協力に対して感謝が述べられた。また、来年の運営会社選定コンペに向けて鋭意準備を進めていることが報告された。

**Ⅸ. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 報告事項**

**総務委員会（飯島理事）**

①休会者数報告（昨年度と今年度の比較）

昨年度と今年度（9 月 30 日時点）の休会者数の比較について報告された。

**財務委員会・規約委員会・教育委員会（尾花理事・石井理事・千葉理事）**

①旅費・謝金支給規程 第 8 条本文に「臨床栄養代謝専門療法士セミナー」を追加する改定案について第 12 回持ち回り理事会にて、「がん領域」の臨床栄養代謝専門療法士セミナーの実施が承認されたことを受けて、当該セミナーの講師謝金規定を旅費・謝金支給規程および同運用規程に加え改定したことが報告された。

#### 将来構想委員会 JSPEN-U45（鍋谷理事）

##### ①JSPEN-U45 アンケートの実施について

JSPEN-U45 発足を周知と今後の活動に活かす目的で、全会員アンケート調査を実施する。調査項目は会員の「学術活動の現状」と「JSPEN の将来についての考え」に関する設問となっていることが報告された。

#### 倫理・利益相反委員会（鷲澤理事）

##### ①「症例報告に関する倫理的な手続き」の掲載について

学会ウェブサイトへの掲載内容案が提示された。

##### ②nutritionDay 調査の回答者からの同意取得について（今後の理事会協議案件）

nutritionDay WG で議論された国際的な施設調査における倫理的な側面からの本学会としての手続きについて、委員会で意見聴取を行った。さらに外部委員の塚田先生より本件に関する指針案をご提示いただいたため、日を改めて審議内容として精査することになった。

#### 教育委員会（千葉理事）

##### ①2022 年度の NST 専門療法士必須セミナーの開催について

2022 年度は、オンラインにて 3 月・6 月に 2 回開催する。テキストや講義動画、配信システムは 2021 年度のものを使用し、確認テストは全て更新する。また、10 月 1 日（土）～2 日（日）にパシフィコ横浜ノース 400 席（ソーシャルディスタンス）集合型で開催することが報告された。

##### ②JSPEN 臨床栄養代謝専門療法士(CNM) セミナーについて

2021 年度は「がん領域」セミナーをオンラインにて 2021 年 11 月 15 日～にて開催。2022 年度は 9 領域セミナーをオンラインで各 1 回、実地で 1 回の計各 2 回の開催を予定する。現地開催は、100 席で 10 月 1 日に 5 領域、10 月 2 日に 4 領域で開催予定であることが報告された。

#### 教育委員会 国際教育 WG（LLL）（高増理事）

##### ①2022 年度 LLL ライブコースについて

下記の日程にてオンライン開催を計画している。但し、LLL ライブコース（オンライン）には特有の課題（SEB (Safe exam browser) アプリ等とロードマップ策定）があることが報告された。

日 程：2022 年 3 月 19 日（土）・20 日（日）、開催形式：オンライン開催

#### 教育委員会 新医師・歯科医師セミナーWG（小山理事）

##### ①NST 医師・歯科医師教育セミナー開催報告について

2021 年 10 月 8 日（金）・9 日（土）にて、日本外科代謝栄養学会との共催で NST 医師・歯科医師教育セミナーをオンラインで開催し、受講者は 252 名であった。2022 年は、3 月 5 日（土）・6 日（日）、講師陣を若干交代し、WEB 開催（LIVE 配信のみ）で開催することが報告された。

#### 教育委員会 薬剤師部会（室井理事）

##### ①第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 薬剤師部会報告について

第 36 回学術集会での薬剤師部会パネルディスカッションおよび日病薬研修シールの配布数について報告がされた。第 37 回学術集会では、オンライン参加者への配布についても検討する。

#### 認定・資格制度委員会（福島副理事長）

##### ①認定教育施設 臨床実地修練実施届出制度について

本年 12 月開始予定の臨床実地修練開始分より同規則第 10 条に基づく事前届出制に移行する。本制度の施行に伴い 11 月中旬に学会ウェブサイトへ公示し、認定教育施設の指導責任者へも郵送にて通達を行った。2021 年 12 月からの各施設の修練より運用を開始する。

##### ②兵庫 NST 研究会の NST 実地修練に関する要望について

厚生労働省へ本学会からの要望書、兵庫 NST 研究会からの嘆願書およびプログラムを提出することが報告された。

#### 認定・資格制度委員会 臨床栄養代謝専門療法士認定資格（佐々木理事）

##### ①暫定臨床栄養代謝専門療法士申請状況について

2021 年度の申請状況は 95 件であった。昨年は 69 名の申請であり増加傾向にあるが、引き続き会員への周知を進める。

#### NST 委員会（中瀬理事）

##### ①第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会の NST フォーラム参加クレジットについて

2024 年更新申請要件より、NST フォーラム参加クレジットが必須となる。施設メンバーの NST フォーラムへの参加確認証に加え、後日配信の調査票への記入をもって、その施設へのクレジット付与とするため、調査票の返信手順の準備が整い次第、順次配信を開始する。

##### ②第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会の NST フォーラムについて

テーマと司会を以下の通り決定し、各演者の選定を行うことが報告された。

テーマ：「わたしたちがつくる未来の NST」

司 会：篠田純治先生、飯田純一先生

##### ③NST 稼働認定施設の認定作業に関して

2021 年度（2022 年認定）更新申請対象は、対象施設 63 施設（更新一年猶予を含むと 88 施設）に対して、59 施設の申請であった。新規申請は 18 施設であった。本委員会で最終審査を行い、2022 年認定施設として定時社員総会へ提出する。

#### 編集委員会（鍋谷理事）

##### ①「学会誌 JSPEN」刊行状況について

2021 年刊行の Vol. 3 の刊行状況について報告がされた。

##### ②「学会誌 JSPEN」掲載状況について

Vol.3 No.1～5までの掲載状況について報告がされた。

③「学会誌 JSPEN」論文投稿状況について

毎月の新規投稿数、修正投稿数、新規投稿数と修正投稿数の合計について報告がされた。

④「学会誌 JSPEN」採択状況について

2019年・2020年・2021年現時点まで期間の採択率が50%であることが報告された。

⑤投稿規程の改訂について

新規論文投稿時に「author contributions 報告書」の提出を必須とすることを確認された。また、実際の運用との整合のため、投稿規程を改訂したことを報告された。

⑥査読者の利益相反関係の開示について

投稿論文の査読を行う査読者の利益相反関係に関して明確にする必要性から、査読打診の際にCOIがないことを確認することにしたことを報告された。

⑦投稿論文の査読について

査読期限を大幅に過ぎても提出しない査読者や、極めて内容が薄いコメントを記載する方が指導的立場でも少数ではあるがおられる。査読は本学会の業績にもなるため、今後の依頼が見送る。さらにあまりに質の低い査読はポイント不可とする委員会決議の採用も検討することが報告された。

⑧研究倫理審査委員会報告システムについて

投稿論文の倫理審査を実施する倫理審査委員会については、厚生労働省の研究倫理審査委員会報告システムに登録されていない倫理審査委員会での倫理審査は認められない。無効な倫理委員会での承認で開始された研究は、報告できない結果になるため注意喚起することになった。

⑨本学会著作物に対する転載許諾申請について

本学会著作物に対する転載許諾申請は編集委員会にて管轄することになった。新たな利用目的と許諾料の区分も承認され、8月に運用を開始した。これまでの内訳について報告がされた。

#### 学術集会実践支援委員会（犬飼理事）

①第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会の会期・会場変更について

本学会関連の学術団体の開催日程と重複したため、日程・会場を以下のとおり変更した。

日程：2024年2月15日（木）～16日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース全館、アネックスホール F201-F206

②第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会のコンベンション選定について

コンベンションに対する説明会を2021年9月27日（月）に実施した。コンベンションを選定する審査方法は、1次審査（書類選考）、2次審査（コンペティション：2022年2月19日（土））の2段階審査とし行う予定であることが報告された。

#### AWARD 選考委員会（山中理事）

①第37回学術集会 大柳治正記念学術振興アワード受賞者・関連講演演者について

AWARD 選考委員会を開催し、以下のとおり決定した。受賞内諾もいただき、関連講演者もご推薦いただいた。

受賞者：中村丁次先生（神奈川県立保健福祉大学・学長）

関連講演者：倉貫早智先生（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部・教授）

小栗靖生先生（京都大学農学研究科食品生物科学専攻食品健康科学講座・助教授）

②小越章平記念 Best Paper in The Year 2021 選考について

7件の応募があり本委員会にて選考評価を行った結果、下記論文の受賞を決定した。なお、今回は優秀な論文が多く上位2名の評点が拮抗していたため、2名を受賞者として選出した。第37回学術集會にて受賞者記念講演において、発表いただく予定である。

受賞者：井山 諭先生（札幌医科大学 血液内科）

タイトル：造血幹細胞移植における経鼻胃管を用いた早期栄養療法

受賞者：中村謙介先生（日立総合病院 救急集中治療科）

タイトル：集中治療における適正投与タンパク質量の検討：単施設無作為化比較臨床試験 RCT

③JSPEN スカラーシップ賞 2021 について

今回の応募申請はなかった。

④YOUNG INVESTIGATOR AWARD2022 について

第37回学術集會の日程変更に伴い、募集期間を2021年11月30日まで延長した。

⑤フェローシップ賞選考規程と応募資格の変更について

初応募を検討する会員へ配慮し、文言の統一と「参加、演題応募が受賞の必須条件であること」、「演題採用、発表が副賞（賞金）の必須条件であること」が明確になるよう規程を変更した。また、組織再編成により、フェローシップ賞を選考する部門がAWARD選考委員会となった。それに準じる形でフェローシップWGの表記をAWARD選考委員会に変更した。

**臨床研究委員会（丸山理事）**

①短腸症候群アンケート調査に関して

全国の短腸症症例の現状と治療実態を明らかにし、アンメットニーズの集積を行い新たな治療薬の適応について検討を目的として短腸症候群アンケートプロジェクトを立ち上げることが報告された。

**臨床研究委員会 P 003：誤接続防止対策プロジェクト（丸山理事）**

①厚生労働省班研究に関して

令和3年度厚生労働科学特別研究事業：経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えに係る課題把握及び対応策立案に向けた研究の概要と進捗について報告された。

■2022年度 第1回定例理事会の予定

第1回定例理事会：2022年1月23日（日）13：00～14：30

ステーションコンファレンス東京 503 B+C+D（ハイブリット形式）

以上

2021年11月25日（木）